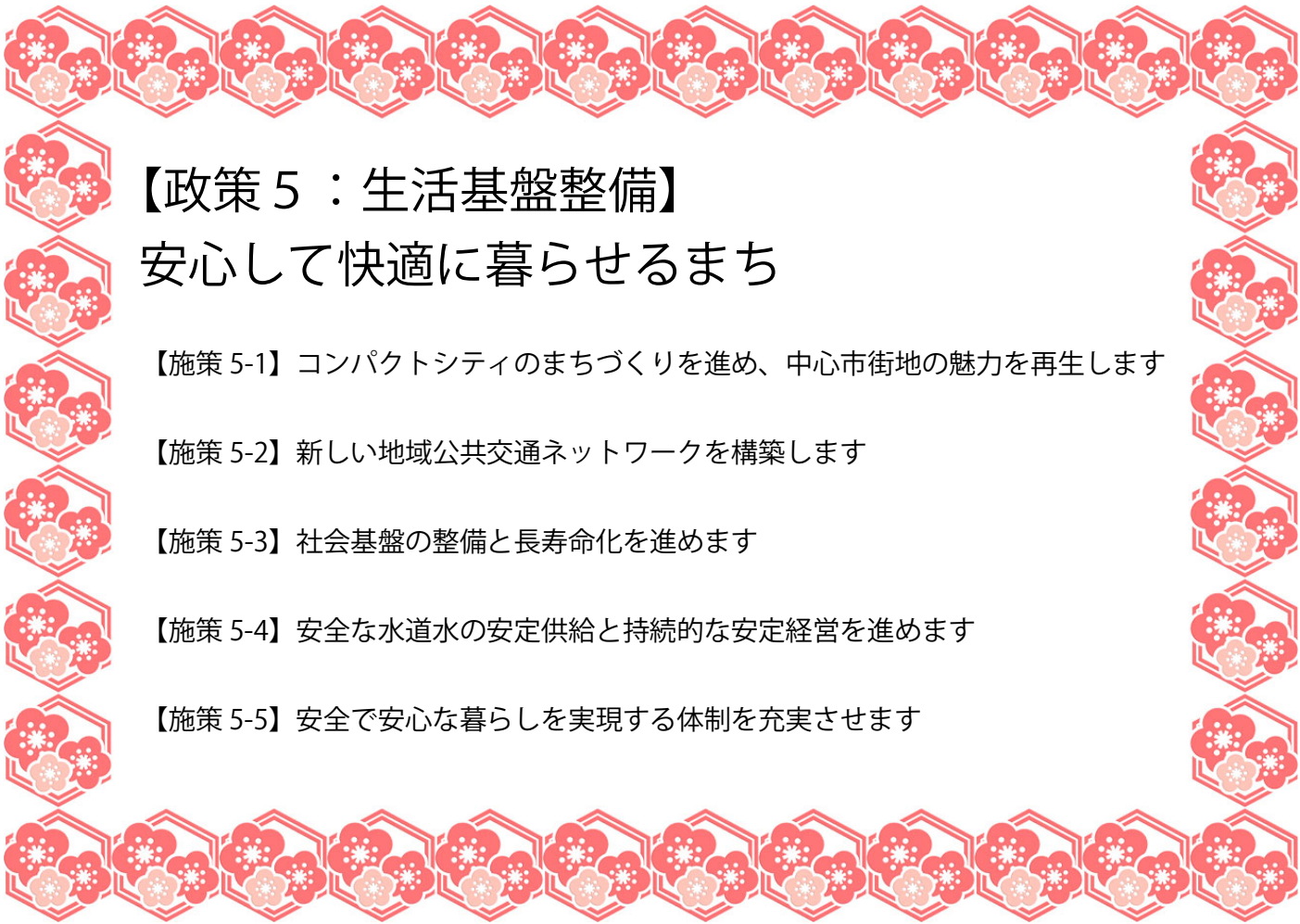


成果説明書



【政策 5：生活基盤整備】

安心して快適に暮らせるまち

【施策 5-1】コンパクトシティのまちづくりを進め、中心市街地の魅力を再生します

【施策 5-2】新しい地域公共交通ネットワークを構築します

【施策 5-3】社会基盤の整備と長寿命化を進めます

【施策 5-4】安全な水道水の安定供給と持続的な安定経営を進めます

【施策 5-5】安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

政策5	安心して快適に暮らせるまち
-----	---------------

所 管	建設水道部
関 連	総務部
関 連	市民生活部 産業振興部

◆ミッション

<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化や人口減に対応した市民の生活形態に合わせた、持続可能な地域公共交通ネットワークの形成を図る。 ・コンパクトシティのまちづくりによる都市環境の整備により、生活利便性の維持・向上を図る。 ・あらゆる世代の市民が安心して暮らせるように、公平性のある社会資本の整備や効率的な施設の長寿命化とともに防災力の強化を図る。
--

◆方 針

<p>◎地域公共交通ネットワークの構築と持続可能で利便性の高い交通システムの維持を図る。 都市機能や居住が集積している都市の中心拠点及び生活拠点に対して、デマンド交通の「こもろ愛のりくん」と定時定路線「愛のり すみれ号」の運行により、公共交通によるアクセスが比較的容易となる環境を整備し、商業施策、医療・福祉施策、住宅施策、観光施策などの分野との連携を推進する。 公共交通の充実によって、移手段の確保や維持を図り、誰もが安心して利便性の高い生活ができる環境を目指す。</p> <p>◎総合的なコンパクトシティ形成に向けた立地適正化計画に基づく利便性の高いまちづくりに取り組む。 低炭素なまちづくりを目指し、都市全体の観点から、居住区域や都市機能の立地、公共交通の充実等に関し、まちづくりに係る関係施策と連携して取り組む。 都市機能が集約された中心市街地の商業の活性化や文化財・歴史的建造物を活かした観光の振興により、賑わいを再生しつつ、生活の利便性の向上により、定住促進を図る。</p> <p>◎効率的で公平性の高い社会基盤の整備を進める。 市内全橋梁の5年に一度の法定点検を計画的に実施し、将来の維持・更新費用を抑制するための、長寿命化工事を推進する。 道路、橋梁、上水道、トンネル等の主要施設である社会基盤の老朽化対策と年々、増加する生活道路の維持補修などのインフラ全体の老朽化対策と並行して、維持管理・修繕の合理化を進める。 市内の幹線道路整備や交通安全対策など建設事業計画や生活道路の整備・修繕については、最小の経費で効率的に公平性の高い整備を計画的に行う。</p> <p>◎災害に強いまちづくりを進める。 地域全体で安全・安心なまちをつくるため、関係機関の連携強化と住民意識の高揚を図る。</p>

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

<ul style="list-style-type: none"> ○多極ネットワーク型コンパクトシティの理念のもと、公共施設、総合病院、商業施設等など、生活に必要な多様な都市機能と持続可能な公共交通ネットワークが連携したまちづくりを目指す。 ○社会資本施設の長寿命化・耐震化計画に基づき、最小の経費で社会基盤整備を効率的・計画的に実施する。 ○小諸市上水道事業基本計画に基づき、将来に向けて、安価で安定した上水道事業の継続を図る。 ○全ての区で、自主防災組織が組織化されるよう支援するとともに、各区単位で実施する防災訓練の推進を図る。 ○市民の安全・安心を守る拠点としての消防庁舎の完成に向け、着実に事業を進め、更なる消防力の強化を図る。
--

政策 5	安心して快適に暮らせるまち
施策 5-1	コンパクトシティのまちづくりを進め、中心市街地の魅力を再生します

所 管	都市計画課
関 連	商工観光課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

市庁舎・図書館等の公共施設、総合病院の整備が完了したが、庁舎・病院等を利用する市民にとって飲食や買い物に利便性が高く、また市を訪れる観光客等にとっては小諸駅を拠点に回遊できるような、魅力ある中心市街地となっていない。商業振興によるまち再生と、小諸駅、市庁舎周辺の都市的機能、重要文化財等歴史的資産がコンパクトにまとまる特徴を活かした、歩いて暮らせるまち、公共交通ネットワークで繋がるまちづくりを進める必要がある。

◆方針

目的
多極ネットワーク型コンパクトシティの理念のもと、公共施設、総合病院、商業施設や金融機関など、生活に必要な多様な都市機能が有機的に連携しあうとともに、公共交通ネットワークが確立され、利便性が高く快適に暮らせるまちづくりを進めるため、立地適正化計画に基づく施策・事業の推進を図る。併せて、小諸駅を拠点とし、懐古園や旧北国街道の重要文化財や歴史的建造物を活かした、回遊できる市街地の形成により、観光振興と移住・定住促進に繋げる。

◆令和元年度重点方針と目標

○立地適正化計画の策定を完了する。(策定最終年度) ○都市計画基本図の整備により、都市計画に係る適正な情報提供環境を整える。○多極ネットワーク型コンパクトシティの形成推進のため、複合型中心拠点誘導施設整備構想に基づき、第4期都市再生整備計画事業に着手し、都市機能の具体的な集約(整備)に係る複合施設の基本計画を策定するとともに、関連道路整備事業を推進する。○ほぼ整備が完了した大手門公園がイベントや観光周遊の拠点となる仕組み・体制づくりの検討を進める。○集約駐車場、有料駐車場の適正な運営管理を推進する。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
①策定された立地適正化計画に基づき、利便性の高いまちづくりが進んでいる状態。 ②空き店舗が活用されるなど、商業の活性化等により、多様な都市施設が有機的に機能している状態。 ③徒歩で中心市街地を回遊でき、歴史的資産を活用したまち歩きができる状態。 ④小諸駅を中心に、鉄道、バス等公共交通ネットワークが整備され、連結して機能している状態。
設 定 理 由
①計画によるまちづくりの推進が、中心市街地の魅力の再生に繋がるから。 ②買物や食事、医療といった生活の利便性の高いまちづくりが、賑わいの再生や移住・定住促進に繋がるから。 ③回遊性の高いまちづくりにより、市民や観光客など、より多くの皆さんに来ていただける魅力が増すから。 ④まちの顔である小諸駅を拠点に公共交通が整備されることにより、交通弱者や観光客の利便性がより高まるとともに、定住促進に繋がるから。

◆実績

令和元年度実績						評価	維持
○複合型中心拠点誘導施設の実施設計を完了 ○複合型中心拠点誘導施設について、工事請負業者と請負契約を締結 ○相生町交差点改良事業に伴う物件移転補償工事及び所有権移転登記等を完了 ○相生町交差点改良工事に係る施工業者が決定							

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	相生町商店街の歩行者数						単位	人
設定理由	市庁舎、図書館、総合病院等と駅周辺の公園等を結ぶ相生町通りの徒歩による人の増加が、歩いて暮らせるまちづくりの成果と考えられるから							
算式							単位	人
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	997	計画	1,107	1,200	1,250	1,300		
		実績	1,283	1,333	1,239			
指標名	本町通りの歩行者数						単位	人
設定理由	本町通りの徒歩による人の増加が、中心市街地の回遊や歴史的資産を活用したまち歩きの成果と考えられるから							
算式							単位	人
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	506	計画	557	584	608	630		
		実績	635	489	413			
指標名							単位	
設定理由								
算式							単位	
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
		計画						
		実績						

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

○都市再生整備計画事業(第4期H30~R2)の計画に基づき、事業を推進する。 ○複合型中心拠点誘導施設建設に伴い、関係機関との工事定例会議を開催し、令和3年7月末の竣工を目指す。 ○複合施設並びに集約駐車場に係る施設管理室業務について、連携し支援する。 ○宅地造成等規制法に基づく、大規模盛土造成地の第二次スクリーニング計画の策定に取り組み、宅地の安全性の把握を推進する。 ○立地適正化計画に基づき、都市機能及び居住の誘導に向けた事業等の検討を行う。 ○市営駐車場(小諸駅・大手門公園)を、利用者にとって良好な状態に保つよう維持管理を行う。							
---	--	--	--	--	--	--	--

◆個別計画

都市計画マスタープラン/立地適正化計画/複合型中心拠点誘導施設基本計画							
-------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--

◆特記事項

--	--	--	--	--	--	--	--

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-1 コンパクトシティのまちづくりを進め、中心市街地の魅力を再生します

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
都市計画総務費運営費		継続		4		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・8土木費・3都市計画費・1都市計画総務費		都市計画課		1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画制度に基づく都市計画の決定、変更 ・小諸市都市計画審議会の運営 ・小諸市景観審議会の運営 					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	特定財源	国・県支出金	5,412 千円	22,778 千円	2,973 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	5,412 千円	22,778 千円	2,973 千円	
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	小諸市都市計画審議会の開催回数	回	計画	4	4	4
			実績	2	2	1
	小諸市景観審議会の開催回数	回	計画	2	2	2
			実績	1	0	0
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項		
<p>○小諸市都市計画審議会 1回開催 低炭素まちづくり計画変更改定の意見聴取を行った。</p> <p>○県屋外広告物条例に基づく規制区域図の修正を行った。</p>						
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、都市計画に係る各種手続きを公正に行う。 ・宅地造成規制法に基づく大規模盛土造成地の第二次スクリーニング計画の策定に取り組み、宅地の安全性を推進する。 						

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-1 コンパクトシティのまちづくりを進め、中心市街地の魅力を再生します

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
都市再生整備計画事業		継続		1		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・8土木費・3都市計画費・3街路事業費		都市計画課		1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ●小諸宿周辺地区都市再生計画事業(第4期)H30年度～R2年度 ・複合型中心拠点誘導施設整備(福祉施設、コミュニティ交通ターミナル、商業施設、公共駐車場) ・道路改良工事(市道1013号線) 					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	特定財源	国・県支出金	103,449 千円	342,802 千円	350,308 千円	
		地方債	15,500 千円	120,516 千円	195,106 千円	
		その他	67,020 千円	139,200 千円	134,000 千円	
		一般財源	4,500 千円	0 千円	0 千円	
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	相生町商店街の歩行者数	人	計画	1,107	1,200	1,250
			実績	1,283	1,333	1,239
	本町通りの歩行者数	人	計画	557	584	608
			実績	635	489	413
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・複合型中心拠点誘導施設の実施設設計を完了した。 ・上記施設の工事請負業者と請負契約の締結をした。 						
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複合施設建設に伴い、関係機関との工事定例会議を実施し、令和3年7月末の竣工を目指す。 ・大手門公園において、未供用部分の整備工事を実施し、全都市公園エリアの供用を完成させる。 ・立地適正化計画に基づき、都市機能及び居住の誘導に向けた事業等の検討を行う。 ・集約施設周辺の歩行者量調査を実施する。(年2回、4月と10月) 						

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-1 コンパクトシティのまちづくりを進め、中心市街地の魅力を再生します

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
相生町交差点改良事業		継続		-		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・8土木費・3都市計画費・3街路事業費		都市計画課		1:無		
事業概要	市道1001号線道路改良工事					
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	年度別事業費		0千円	0千円	137,268千円	
	特定財源	国・県支出金		0千円	0千円	0千円
		地方債		0千円	0千円	0千円
		その他		0千円	0千円	0千円
一般財源		0千円	0千円	137,268千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	相生町商店街の歩行者数	計画	人	1,107	1,200	1,250
				実績	1,283	1,333
		計画				
			実績			
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・建物及び土地所有者、また、テナント事業者との用地補償契約を締結し、交差点改良工事に伴う物件移転補償工事及び所有権移転登記等完了した。 ・道路管理者及び県公安委員会との協議が整い、令和2年3月交差点改良工事の施工業者が決定した。 						
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電柱移転に伴い、共架している関係事業者と移転補償契約を締結し、概ね7月までに移転補償工事を実施する。 ・信号機の移設先等について、県規制課、小諸警察署等関係機関と現地確認し決定する。 ・県公安委員会と信号機移設についての移転補償契約を締結し、概ね11月までに移転補償工事を実施する。 ・交差点改良工事は概ね12月までに完了させる。また、同時に一方通行解除をし年内の供用を目指す。 						

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-1 コンパクトシティのまちづくりを進め、中心市街地の魅力を再生します

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
市営駐車場管理事業		継続		2			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・8土木費・3都市計画費・5交通政策費		都市計画課		1:無			
事業概要	市営小諸駅駐車場及び市営大手門公園有料駐車場における、適正な点検・管理による利便性の確保						
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		4,036千円	5,539千円	5,498千円		
	特定財源	国・県支出金		0千円	0千円	0千円	
		地方債		0千円	0千円	0千円	
		その他		4,036千円	5,539千円	5,498千円	
一般財源		0千円	0千円	0千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	駐車場施設の定期点検回数		回	計画	12	12	12
				実績	12	12	12
	緊急連絡機器の定期点検回数		回	計画	12	12	12
				実績	12	12	12
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な点検を行ない、概ね良好な状態に保つことが出来た。 ・H30.12.25市営小諸駅駐車場及び大手門公園有料駐車場の料金改正に伴い、利用台数の前年比は 小諸駅118% 大手門167%、収入額の前年比は 小諸駅64% 大手門83%となった。 							
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な維持管理を行うため、直営でのパトロールを実施する。 ・駐車台数、収入額等のデータを取り分析する。 ・利用者への利便性の確保のため、駐車場施設の点検を徹底する。 							

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-1 コンパクトシティのまちづくりを進め、中心市街地の魅力を再生します

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
集約駐車場管理事業		継続		3		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・8土木費・3都市計画費・5交通政策費		施設管理室		1:無		
事業概要	市営中央地下駐車場(第1駐車場)・市営中央西側駐車場(第2駐車場)・市営赤坂駐車場(第3駐車場)における、適正な点検・管理による利便性の確保					
投入指標		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費	29,172 千円	19,509 千円	20,060 千円		
	特定財源					
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
その他	17,254 千円	13,696 千円	14,095 千円			
一般財源	11,918 千円	5,813 千円	5,965 千円			
活動指標	指標名	単位		平成29年度	平成30年度	令和元年度
	駐車場施設の定期点検回数	回	計画	2	4	4
			実績	2	4	4
	駐車場内の緊急対応可能日数	日	計画	365	365	365
			実績	365	365	365
令和元年度 実績	評価	維持	特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場利用者の利便性を高めるため、管制機器及びエレベーター等の保守点検、駐車場内の誘導・補助作業、24時間体制によるトラブル対応等を実施した。 ・こもろ医療センターとの連携会議の開催をした。 						
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロータリー内の警備員、駐車場内の誘導員と連携し、利用者の意見・要望を聞き取り、利便性の向上を図る。 ・常時良好な状態を保つように、駐車場設備(発行機、精算機、エレベーター等)の点検を行う。 ・こもろ医療センターとの連携会議をする。 ・複合施設に建設される駐車場の供用に合せ、集約駐車場の運用方法を検討する。 						

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-1 コンパクトシティのまちづくりを進め、中心市街地の魅力を再生します

事務事業名				新規・継続	
都市計画総務費給与費				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・8土木費・3都市計画費・1都市計画総務費				都市計画課	
投入指標			平成29年度	平成30年度	
			令和元年度		
	年度別事業費		63,770 千円	65,570 千円	69,562 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
その他		12,374 千円	0 千円	12,686 千円	
一般財源		51,396 千円	65,570 千円	56,876 千円	
事務事業名				新規・継続	
県街路事業負担金				継続	
会計・款・項・目				所管課	
一般会計・8土木費・3都市計画費・3街路事業費				都市計画課	
投入指標			平成29年度	平成30年度	
			令和元年度		
	年度別事業費		5,418 千円	6,559 千円	426 千円
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
その他		0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		5,418 千円	6,559 千円	426 千円	

政策 5	安心して快適に暮らせるまち
施策 5-2	新しい地域公共交通ネットワークを構築します

所 管	都市計画課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

民間公共交通の廃止や縮小傾向の加速化で、通勤通学手段が無くなりつつあるとともに、超高齢化社会の進展等により交通弱者が増加している。安心して快適に暮らせるまちづくりを進めるため、通勤・通学や交通弱者の移動手段を確保・維持するとともに、中心市街地やそれぞれの地域が公共交通で有機的に繋がる公共交通ネットワークの構築が課題である。

◆方針

目的
デマンド型予約制相乗りタクシー「こもろ愛のりくん」を基本に、様々な移動手段に対応した新しい地域公共交通ネットワークを構築する。また、持続可能な地域公共交通の仕組みづくりのために、利用者の要望等に沿った改善を図るとともに、運営組織や運営経費、受益者負担のあり方等を総合的に検討する。

◆令和元年度重点方針と目標

○「こもろ愛のりくん」「愛のりすみれ号」の利用促進、特にこもろ愛のりくんの利用登録者のさらなる拡大を図る。
 ○持続可能なコミュニティ交通の構築に向け、利便性・効率性の両立を図る。
 ○周辺市町を結ぶ幹線的な公共交通（鉄道・幹線バス）の利便性の確保を図る。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
①自家用車等の移動手段のない市民が、公共交通網を利用して移動したいときに移動できる状態。 ②利用者が満足するネットワークが構築され、かつ、公共サービスとして持続可能な運営となっている状態。
設定理由
①交通弱者の移動手段を確保する必要があるから。また、過度に自家用車に頼ることなく、通勤・通学、通院や買い物等に出かけることができるから。 ②行政の財政負担や利用者（受益者）負担を含め、適切な経費負担による運営が持続可能な地域公共交通システムとなることから。

◆実績

令和元年度実績						評価	維持
○増便事業等の実施により、しなの鉄道の利便性の向上を図った。 ○しなの鉄道車両更新計画(8年計画)がスタートし、今年度分負担金を交付した。 ○「こもろ愛のりくん」「愛のりすみれ号」の運行改善を実施した。							

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	コミュニティ交通利用者数(延べ人数)						単位	人
設定理由	利用者の増加が公共交通の利便性に対する評価と考えられるから							
算式							単位	人
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	85,000	計画	87,000	88,000	89,000	90,000		
		実績	70,185	74,664	68,041			
指標名	こもろ愛のりくん・愛のりすみれ号の乗車率							
設定理由	運行効率が上がることで運営経費が抑制され、持続可能な運営に繋がるから							
算式							単位	人
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	35	計画	38	39	40	41		
		実績	31.5	33.8	32.0			
指標名								
設定理由								
算式							単位	
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
		計画						
		実績						

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

○多極ネットワーク型コンパクトシティの理念のもと、生活の利便性が高く、より快適な地域公共交通の仕組みを構築するために、デマンド型予約制相乗りタクシー「こもろ愛のりくん」を中心に、持続可能な、かつ、利便性と効率性の両立を図ることができるコミュニティ交通の見直しを進める。 ○幹線的な公共交通について、持続可能な運行をめざし沿線自治体と協議を行い支援事業等を検討する。							
---	--	--	--	--	--	--	--

◆個別計画

地域公共交通網形成計画／都市計画マスタープラン／立地適正化計画							
---------------------------------	--	--	--	--	--	--	--

◆特記事項

--	--	--	--	--	--	--	--

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-2 新しい地域公共交通ネットワークを構築します

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
交通政策費運営費		継続		2		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・8土木費・3都市計画費・5交通政策費		都市計画課		1:無		
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・しなの鉄道活性化協議会等への負担金の交付 ・千曲バスへの補助金の交付 ・JR小海線三岡駅及び美里駅のトイレや駐輪場の維持管理 ・小諸高等学校、水明小学校のスクールバス運行 					
	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
投入指標	特定財源	年度別事業費	157,709 千円	44,317 千円	40,000 千円	
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	53,100 千円	0 千円	1,300 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
一般財源		104,609 千円	44,317 千円	38,700 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	小諸駅(しなの鉄道)の年間乗降客延べ人数	人	計画	1,190,000	1,190,000	1,190,000
			実績	1,148,030	1,141,256	1,062,271
	小諸駅(JR)の年間乗降客延べ人数	人	計画	540,000	540,000	540,000
実績			643,042	661,262	599,103	
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・小諸・軽井沢間の増便事業、しなの鉄道の車両更新への支援など、しなの鉄道の利便性向上を図った。 ・生活路線バス運行費等の補助により、千曲バス佐久上田線の維持を図った。 ・JR小海線三岡駅及び美里駅トイレ等の施設について、清掃等適切な維持管理を行った。 				R1～R8しなの鉄道車両更新(8年間 負担額合計 1億6千万円)		
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> 引き続き、しなの鉄道および千曲バス佐久上田線への支援により、幹線的公共交通の確保を図る。						

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-2 新しい地域公共交通ネットワークを構築します

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
公共交通事業		継続		1		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・8土木費・3都市計画費・5交通政策費		都市計画課		1:有		
事業概要	予約制相乗りタクシー「こもろ愛のりくん」と定時定路線「愛のりすみれ号」を基本としたコミュニティ交通の運行と改善					
	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
投入指標	特定財源	年度別事業費	75,862 千円	81,927 千円	83,164 千円	
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	537 千円	0 千円	592 千円	
一般財源		75,325 千円	81,927 千円	82,572 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	コミュニティ交通利用者数(延べ人数)	人	計画	87,000	88,000	89,000
			実績	70,185	74,664	68,041
	こもろ愛のりくん、愛のりすみれ号の乗車率(%)	%	計画	38	39	40
実績			31.5	33.8	32.0	
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項		
<ul style="list-style-type: none"> ・予約制相乗りタクシー「こもろ愛のりくん」および定時定路線「愛のりすみれ号」の運行改善を実施した。 ・他事業のイベントと連携し、「こもろ愛のりくん」新規登録キャンペーンを実施した。(相生町100円商店街) 						
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> 利用浸透を促すとともに、利便性と効率性を両立した、運行時間や路線、料金などの持続可能なコミュニティ交通の運行形態を検討する。						

政策 5	安心して快適に暮らせるまち
施策 5-3	社会基盤の整備と長寿命化を進めます

所 管	建設課
関 連	都市計画課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

○道路・橋梁・河川は、必要な機能を維持するための修繕が中心となっており、生活道路の事業要望、幹線道路の舗装改良、橋梁の修繕・耐震補強、河川の護岸保全などは、計画的な整備ができていない状況である。

○国土地籍調査は、計画区域を予定どおり完了するため、継続で実施している複数の地区を同時に進める必要がある。

○空家対策は、実態把握調査と2次調査の結果を踏まえた「特定空家等」の指定に伴い、所有者による除却等の促進を図ることが課題である。

◆方針

目的
○市内の社会資本については、必要な機能を維持しつつ、定期的に点検を行い、将来の維持・更新費用を抑制するため、長寿命化・老朽化対策を推進する。生活道路等の修繕は、将来の効率的な改修の検討をする。なお、新設道路は、道を活かす計画的な道路整備を行い、通行量・利用者等の少ない橋は、廃止・削減の方法を考える。
○国土地籍調査は、実施地区の作業を効率的に進め、登記完了へつなげる。
○空家対策は、実態把握調査と2次調査の結果に基づき、特定空家等の指定を行い、除却等の適正な管理を促す。また、空家対策協議会の運営を行う。

◆令和元年度重点方針と目標

○社会基盤整備として、点検結果による舗装修繕計画に基づき舗装改良を実施する。橋梁は、長寿命化計画の見直しにより、修繕や耐震化、簡易補修を行う。

○生活道路等は、評価による順位に基づき、より効率的に事業を進める。

○空家対策は、特定空家等の解消を図るため、所有者に対し行政指導を行う。また、空家等所有者に対し解決に向けた支援を行う。

○地域協働道ぶしんクリーン事業は、引き続き地域との協働により道路、河川等の維持を進める。

○国土地籍調査は、4地区の調査を行い、2地区の登記を完了させる。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
①通行の安全性が確保された状態。 ②橋梁が計画的に維持管理されている状態。 ③空家が適正に管理されている状態。
設定理由
①生活道路、通学路が整備されることにより、通行の安全が確保されるから。 ②橋梁点検を計画的に行うことにより、損傷の事前予測や劣化予測ができるから。 ③空家が適正に管理されることにより、空家の利活用とともに、危険が回避されるから。

◆実績

令和元年度実績						評価	維持
<ul style="list-style-type: none"> ・舗装改良は、舗装長寿命化修繕計画に基づき、1669.5mを実施した。 ・橋梁は、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、29橋の点検を実施した。常盤橋は修繕工事を継続中。 ・生活道路等の地域要望への対応は、50箇所・25%を実施した。 ・空家対策は、空家所有者への支援として、無料相談会を開催した。 ・地域協働道ぶしんクリーン事業は、地域の方の活動により238件の実施となった。 ・国土地籍調査は、4地区の調査を行い、登記は1地区の実施となった。 ・令和元年東日本台風等による被災箇所に対し、応急対応や復旧に向け事業を実施した。 							

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	道路改良・改修要望への対応割合							
設定理由	対応割合を維持することにより、最低限必要な道路機能を維持できるから。							
算式							単位	%
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	30	計画	30	30	30	30	30	
		実績	24	22	25			
指標名	橋梁点検実施件数							
設定理由	橋梁を計画的に点検することにより、損傷の事前予測や劣化予測ができるから。							
算式							単位	件
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	25	計画	72	19	50	50	50	
		実績	44	38	29			
指標名	地域協働道ぶしんクリーン事業実施件数							
設定理由	実施件数を維持することにより、官民協働での道路、河川の維持管理ができるから。							
算式							単位	件
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	156	計画	160	260	260	260	260	
		実績	259	249	238			

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

<ul style="list-style-type: none"> ○舗装長寿命化修繕計画、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、施設の長寿命化、コストの縮減を目的に舗装改良及び橋梁の修繕を実施する。 ○5項目の基準による評価に基づいた優先順位により事業を実施する。 ○特定空家等の所有者に対し、粘り強く指導を行うとともに、空家の適正な管理を促すため、相談会を開催する。 ○地域の皆様との協働による道路管理をめざし、地域協働道ぶしんクリーン事業を進める。 ○令和元年東日本台風による被災箇所の早期復旧に向け取り組む。
--

◆個別計画

橋梁長寿命化修繕計画／耐震改修促進計画／公営住宅等長寿命化変更計画／舗装長寿命化修繕計画／空家等対策計画
--

◆特記事項

--

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-3 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
国土地籍調査事業		継続	4				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・8土木費・1土木管理費・2国土調査費		建設課	1:無				
事業概要	地籍調査未実施地区18平方キロメートルにおいて ・土地を一筆ごとに所在、所有者、地番及び地目の調査を実施 ・境界及び地積に関する測量 ・地籍簿と地籍図を作成						
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		46,770 千円	50,905 千円	52,019 千円		
	特定財源	国・県支出金	23,923 千円	22,125 千円	25,609 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	68 千円	24 千円	25 千円		
一般財源		22,779 千円	28,756 千円	26,385 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	境界立会いする面積		ha	計画	37	25	23
				実績	37	25	23
	登記完了する地区数		地区	計画	1	1	2
				実績	2	1	1
令和元年度 実績			評価	維持	特記事項		
年間スケジュールどおりに5地区同時に進めることができた。また、中央7区の登記も完了した。		平成27年度境界立会いを実施する中央4区以降は、DID(人口集中地区)の調査となり、地権者の権利意識が強く、境界立会いが難航することが想定される。					
目標の実現に向けた今後の取り組み							
行程の異なる地区(中央10区~中央13区)を同時に進めるため、対象地区のスケジュールを常時共有し、滞る地区がないよう効率的に進める。							

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-3 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
道路台帳補正業務費		継続	10				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・1道路橋梁総務費		建設課	1:無				
事業概要	・道路法第28条に基づく道路台帳の調整を行う。道路の現況を把握し道路台帳へ反映させる。 ・所有権移転がなされていない認定道路敷地(未登記道路)が存在しており、すでに道路として利用されている部分を寄附いただくなど、市民の理解と協力を得ながら積極的に解消を推進する。						
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		15,156 千円	14,926 千円	15,016 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		15,156 千円	14,926 千円	15,016 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	正確な道路台帳の補正		回	計画	1	1	1
				実績	1	1	1
	未登記解消筆数		筆	計画	100	100	100
				実績	38	26	38
令和元年度 実績			評価	拡充	特記事項		
道路台帳補正漏れを把握し、適正に補正を行なった。未登記道路敷38筆を解消した。							
目標の実現に向けた今後の取り組み							
・市道の新設、廃止、変更に伴う道路台帳の整備を適正に行う。 ・洗出し作業により把握している未登記道路敷について計画的に処理を行う。 ・境界立会いや地籍調査業務等で新たに判明した未登記道路敷について速やかに解消を図る。							

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-3 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
市道維持補修事業		継続		5		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・2道路維持費		建設課		1:無		
事業概要	パトロール等による状況把握と維持補修作業を組み合わせ、建設施設の機能保全を図る。					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	特定財源	国・県支出金	57,456 千円	51,267 千円	43,934 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	5,300 千円	5,664 千円	5,646 千円	
一般財源		52,156 千円	45,603 千円	38,288 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	区の道ぶしんクリーン事業参加率	区	計画	68	68	68
			実績	66	67	65
	施設破損個所の30日以内での作業完了率	%	計画	100	100	90
			実績	100	100	92
令和元年度 実績		評価	縮小	特記事項		
道ぶしんクリーン事業への参加を推進し、65区の参加により延べ延長840kmにおいて、道路を中心とした清掃作業を実施した。発見及び連絡受付後、早急に修繕を行った。		平成30年度まで活動指標としていた「支障木伐採要望の対応率」を削除し、「施設破損箇所の30日以内での作業完了率」を追加する。(施設の延命と利用上の安全を確保するためには、早期の補修対応が不可欠であるため。)				
目標の実現に向けた今後の取り組み						
引き続き地域との協働による道路管理を目指すため、道ぶしんクリーン事業の取組み拡大を推進する。パトロールによる主体的対応と、地域の目を活用した施設管理を行う。						

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-3 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
占用工事負担金事業		継続		9		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・2道路維持費		建設課		1:無		
事業概要	占用工事に際し(上下水道等)、30m以上道路を掘削する場合に占用者から負担金を徴収し道路管理者が道路の復旧を実施する。					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	特定財源	国・県支出金	4,903 千円	0 千円	31,704 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	4,596 千円	0 千円	30,934 千円	
一般財源		307 千円	0 千円	770 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	連絡会議開催回数	回	計画	1	1	1
			実績	1	0	1
			計画			
			実績			
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項		
埋設管(下水道管)布設に伴い、2路線の工事を実施した。		事業相手の都合により、事業費の変動が激しいため予算措置としては、柔軟な対応が必要と考えられる。当初は年2回の連絡会議を開催する目標だったが、2回開催する必要性がないため、確実に年1回の開催として、できるだけ年度の初めに開催する。				
目標の実現に向けた今後の取り組み						
占用工事調整会議を開催し占用者の理解を深め、負担金工事による道路構造の保全と円滑な交通の確保に努める。						

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-3 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
市道除融雪事業		継続		-		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・2道路維持費		建設課		1:無		
事業概要	指定する除融雪路線の積雪や凍結による危険を、協力業者との調整により排除する。 生活道路の積雪や凍結による危険を、委託業者との調整と地域の協力により排除する。					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	特定財源	国・県支出金	79,496 千円	71,099 千円	81,527 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	79,496 千円	71,099 千円	81,527 千円	
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	除融雪実施路線の延長	km	計画	216	216	216
			実績	216	216	216
	業務への協力業者数	事業所	計画	36	36	36
			実績	36	36	35
令和元年度 実績		評価	縮小	特記事項		
除雪業務30業者、融雪剤散布業務10業者への委託により、対応予定路線の除融雪業務を実施した。		H28年度除雪担当業者24社・凍結防止剤散布担当業者10社(3社兼務) H29年度除雪担当業者30社・凍結防止剤散布担当業者10社(4社兼務) ■H31年度計画より、活動指標に「業務への協力業者数」を追加(協力業者数は業務量に影響し、これを確保することが業務の早期完了に繋がるから)				
目標の実現に向けた今後の取り組み						
現状水準の維持並びに安定的・継続的な除融雪体制の確保に向け、契約方法及び経費等の検討を行う。						

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-3 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
市単道路等整備事業		継続		6		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・3道路等整備費		建設課		1:無		
事業概要	市道の維持補修、道路改良、舗装改良、側溝改良など					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	特定財源	国・県支出金	164,885 千円	248,886 千円	216,934 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	90,000 千円	45,000 千円	
		一般財源	164,885 千円	158,886 千円	171,934 千円	
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	実施率(実施数/要望数)	%	計画	23	23	23
			実績	24	22	25
			計画			
			実績			
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項		
157箇所、施工延長L=6,292mの道路維持補修工事、道路改良工事を行った。		要望件数が増えており実施率が低下している。				
目標の実現に向けた今後の取り組み						
危険性(緊急性)、必要性の高さ、利便性の向上・経済効果、防災・減災効果等の評価を行い優先順位に基づき事業を進める。						

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-3 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
河川整備事業		継続		8			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・3道路等整備費		建設課		1:無			
事業概要	小諸市準用河川N=10箇所L=28,200mのうち、老朽化した護岸等の河川整備工事を実施する。						
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
			12,606 千円	4,807 千円	11,039 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	2,000 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		12,606 千円	4,807 千円	9,039 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	施工延長		m	計画	50	50	50
				実績	43	20	46
				計画			
				実績			
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
河川改修工事 L=46m (準)松井川、(準)花川、(準)平沢川、(普)深沢川 浚渫工事 L=79m (準)栃木川、(普)大石沢川							
目標の実現に向けた今後の取り組み							
近年全国的に多発している豪雨災害による被害を少なくするため、着実に河川改修及び浚渫工事等の維持管理を行う。							

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-3 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
交通安全通学路整備事業		継続		7			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・3道路等整備費		建設課		1:無			
事業概要	区からの要望及び道路管理者が必要とする箇所の安全施設を工事する。 ・通学路歩道設置工事 ・グリーンベルト、区画線設置工事 ・防護柵、安全施設、警戒標識設置工事						
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
			26,860 千円	28,346 千円	30,304 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		26,860 千円	28,346 千円	30,304 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	通学路緊急合同点検に基づく整備実施率(実施数/要望数)		%	計画	60	60	60
				実績	52	53	49
				計画			
				実績			
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
歩道設置工事 N=2件 平成30年度通学路点検箇所 N=41箇所のうち20箇所 歩道設置工事 L=47m 防護柵等設置工事 L=180m 区画線及びグリーンベルト設置工事 L=10,909m 道路反射鏡設置工事 N=42箇所 交通安全対策工事 N=10箇所							
目標の実現に向けた今後の取り組み							
定期的な合同点検を実施し、通学路及び未就学児の散歩コース等の児童等の歩行空間の確保等の交通安全対策を進める。							

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-3 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
社会資本整備総合交付金事業(橋梁)		継続		1		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・3道路等整備費		建設課		1:無		
事業概要	橋梁長寿命化修繕計画に基づき修繕及び耐震補強を実施する。 道路法の改正により、橋梁については5年に1回の頻度で点検を行う。					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	特定財源	国・県支出金	177,246 千円	54,508 千円	108,887 千円	
		地方債	97,485 千円	28,492 千円	59,806 千円	
		その他	0 千円	8,000 千円	37,200 千円	
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	
		79,761 千円	18,016 千円	11,881 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	主要な施設を跨ぐ橋梁耐震化実施個数(全6橋)	橋	計画	1	1	1
			実績	1	0	0
	橋梁修繕実施個数(全17橋)	橋	計画	1	1	1
			実績	1	0	0
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項		
橋梁点検 N=29橋						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋の長寿命化を図り、維持管理事業のコスト縮減を目的に橋梁の修繕を実施する。						

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-3 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
社会資本整備総合交付金事業(舗装改良)		継続		2		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・3道路等整備費		建設課		1:無		
事業概要	小諸市舗装長寿命化計画に基づき、小諸市幹線道路の舗装改築工事を実施する。					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	特定財源	国・県支出金	46,467 千円	66,798 千円	31,892 千円	
		地方債	25,556 千円	33,339 千円	15,752 千円	
		その他	0 千円	30,000 千円	14,100 千円	
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円	
		20,911 千円	3,459 千円	2,040 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	施工延長	m	計画	1,600	1,500	1,500
			実績	591	522	305
			計画			
			実績			
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項		
○舗装改良工事 L=305m 市道0141号線(市 千曲ビューライン)						
目標の実現に向けた今後の取り組み						
舗装修繕計画に基づき幹線道路の長寿命化を図り、コスト縮減を目的に舗装改良を実施する。						

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-3 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
社会資本整備総合交付金事業(交通安全)		継続		3			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・3道路等整備費		建設課		1:無			
事業概要	通学路点検実施により要危険箇所となった箇所の歩道設置を行う。						
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	国・県支出金		8,503 千円	47,121 千円	27,920 千円		
	地方債		4,976 千円	25,911 千円	15,276 千円		
	その他		0 千円	19,000 千円	11,200 千円		
	一般財源		0 千円	0 千円	0 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	歩道改良延長		m	計画	120	150	150
				実績	97	125	140
				計画			
				実績			
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
歩道改良工事 L=140m 市道0146号線(和田)							
目標の実現に向けた今後の取り組み							
小学校等に通う児童が利用する通学路及び生活道路における交通事故を防止するため、安全・安心な歩行空間の整備を実施する。							

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-3 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
社会資本整備総合交付金事業(トンネル)		継続		-			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・8土木費・2道路橋梁費・3道路等整備費		建設課		1:無			
事業概要	道路法の改正により、トンネル点検を5年に1回の頻度で行う。						
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	国・県支出金		0 千円	3,942 千円	0 千円		
	地方債		0 千円	0 千円	0 千円		
	その他		0 千円	0 千円	0 千円		
	一般財源		0 千円	3,942 千円	0 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	市道を結ぶトンネルの点検実施		本	計画		2	0
				実績		2	0
				計画			
				実績			
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
点検、修繕なし							
目標の実現に向けた今後の取り組み							
トンネル長寿命化修繕計画に基づき長寿命化を図り、維持管理事業のコスト縮減を目的にトンネルの修繕を実施する。							

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-3 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
都市公園維持管理事業		継続		13			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・8土木費・3都市計画費・4都市公園事業費		都市計画課		1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 公園の維持管理 遊具点検 公園施設長寿命化計画の実施 公園クリーン活動奨励金の交付 						
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		18,476 千円	21,390 千円	16,229 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	1,703 千円	1,866 千円	2,315 千円		
一般財源		16,773 千円	19,524 千円	13,914 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	職員による日常点検及び清掃		回	計画	492	492	492
				実績	492	492	492
	専門業者による遊具定期点検		回	計画	18	18	18
				実績	18	18	18
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> 都市公園10箇所、緑地等40箇所の公園管理業務を実施した。 都市公園8箇所、緑地10箇所の遊具点検を実施した。 公園クリーン活動奨励金の交付N=9箇所。 							
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市公園10箇所、緑地40箇所の維持管理業務を実施する。 都市公園8箇所、緑地10箇所の専門業者による遊具点検1回/年、及び職員による遊具点検1回/月を実施する。 市民協働による地域に密着した公園管理を推進するため、公園クリーン活動補助金制度について広報にて周知する。 							

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-3 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続		施策内順位			
住宅管理費運営費		継続		-			
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項			
一般会計・8土木費・4住宅費・1住宅管理費		建設課		1:無			
事業概要	<p>【運営費】 公営住宅法、小諸市営住宅条例等に基づき、低所得者のための市営住宅(768戸)を供給する。</p>						
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		39,617 千円	42,058 千円	52,115 千円		
	特定財源	国・県支出金	1,593 千円	3,255 千円	4,456 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	38,024 千円	38,803 千円	47,659 千円		
一般財源		0 千円	0 千円	0 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
				計画			
				実績			
				計画			
				実績			
令和元年度 実績		評価	縮小	特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> 施設の破損等に対し、迅速かつ適切に補修を行った。 囃団地2棟の外壁及び屋根の改修工事を行った。 							
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> 小諸市公営住宅等長寿命化変更計画に基づき維持管理をしていく。							

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-3 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
住宅耐震化事業		継続	11				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・8土木費・4住宅費・2住宅政策費		建設課	1:無				
事業概要	市内の既存住宅・建築物の耐震診断とその結果に基づく耐震改修を促進する。						
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		1,832 千円	1,320 千円	4,149 千円		
	特定財源	国・県支出金	1,329 千円	990 千円	2,667 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		503 千円	330 千円	1,482 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	精密耐震診断件数		件	計画	28	20	20
				実績	13	5	3
	耐震改修事業補助件数		件	計画	11	4	4
				実績	1	1	4
令和元年度 実績		評価	縮小	特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> 精密耐震診断件数 3 件 耐震改修補助件数 4 件 		建築物の耐震改修の促進に関する法律の一部を改正する法律(耐震改修促進法)が平成25年11月25日に施行され、「全ての住宅・建築物に対して耐震診断・耐震改修を努力義務化」、「大規模な特定建築物、地震対策上特に重要な建築物に対して、耐震診断を義務化、結果公表」等、耐震化促進のための規制が強化された。					
目標の実現に向けた今後の取り組み <ul style="list-style-type: none"> 広報こもろや市ホームページ等により積極的に事業の周知を図る。 過去に耐震診断を実施した所有者に対し、耐震改修を案内するダイレクトメールを送付する。 							

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-3 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
特定空家対策事業		継続	9				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・8土木費・4住宅費・3空家対策費		建設課	1:無				
事業概要	空家建築物等の実態把握を行ない、所有者の特定・改善依頼をはじめ、「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、空家等対策計画の策定・特定空家の除去等を行う。						
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		429 千円	207 千円	9,317 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		429 千円	207 千円	9,317 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	特定空家等の除却		棟	計画	1	3	3
				実績	0	0	1
				計画			
				実績			
令和元年度 実績		評価	縮小	特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> 空家等の現地調査を実施した。 空家に関する無料相談会を開催した。 		小諸市空家等対策計画の見直しを行う。					
目標の実現に向けた今後の取り組み <ul style="list-style-type: none"> 状態の悪化、対応済み等、空家のデータの更新を随時行う。 特定空家等の所有者に対し行政指導を行う。 無料相談会等を適宜開催し、所有者の責任による空家の適正な管理を促す。 							

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-3 社会基盤の整備と長寿命化を進めます

事務事業名				新規・継続		
土木総務費運営費				継続		
会計・款・項・目				所管課		
一般会計・8土木費・1土木管理費・1土木総務費				建設課		
投入指標	特定財源	平成29年度		平成30年度	令和元年度	
		年度別事業費		11,171 千円	7,915 千円	9,719 千円
		国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円
		その他		0 千円	1,146 千円	1,647 千円
一般財源		11,171 千円	6,769 千円	8,072 千円		
事務事業名				新規・継続		
土木総務費給与費				継続		
会計・款・項・目				所管課		
一般会計・8土木費・1土木管理費・1土木総務費				建設課		
投入指標	特定財源	平成29年度		平成30年度	令和元年度	
		年度別事業費		119,796 千円	128,620 千円	137,020 千円
		国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円
		その他		0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		119,796 千円	128,620 千円	137,020 千円		
事務事業名				新規・継続		
道路橋梁河川災害復旧事業(単独・補助)				継続		
会計・款・項・目				所管課		
一般会計・11災害復旧費・2公共土木施設災害復旧費・1公共土木施設災害復旧費				建設課		
投入指標	特定財源	平成29年度		平成30年度	令和元年度	
		年度別事業費		21,297 千円	44,815 千円	110,136 千円
		国・県支出金		0 千円	15,373 千円	21,835 千円
		地方債		0 千円	8,400 千円	69,800 千円
		その他		0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		21,297 千円	21,042 千円	18,501 千円		
事務事業名				新規・継続		
事務費運営費				継続		
会計・款・項・目				所管課		
小諸市住宅新築資金等貸付事業特別会計・1事務費・1事務費・1事務費				建設課		
投入指標	特定財源	平成29年度		平成30年度	令和元年度	
		年度別事業費		8,058 千円	6,884 千円	6,014 千円
		国・県支出金		907 千円	899 千円	0 千円
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円
		その他		0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		7,151 千円	5,985 千円	6,014 千円		
事務事業名				新規・継続		
住宅新築資金等貸付事業債元金償還金				継続		
会計・款・項・目				所管課		
小諸市住宅新築資金等貸付事業特別会計・2公債費・1公債費・1元金				建設課		
投入指標	特定財源	平成29年度		平成30年度	令和元年度	
		年度別事業費		2,798 千円	2,495 千円	2,270 千円
		国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円
		その他		0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		2,798 千円	2,495 千円	2,270 千円		
事務事業名				新規・継続		
住宅新築資金等貸付事業債利子償還金				継続		
会計・款・項・目				所管課		
小諸市住宅新築資金等貸付事業特別会計・2公債費・1公債費・2利子				建設課		
投入指標	特定財源	平成29年度		平成30年度	令和元年度	
		年度別事業費		297 千円	197 千円	110 千円
		国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円
		その他		0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		297 千円	197 千円	110 千円		
事務事業名				新規・継続		
予備費				継続		
会計・款・項・目				所管課		
小諸市住宅新築資金等貸付事業特別会計・3予備費・1予備費・1予備費				建設課		
投入指標	特定財源	平成29年度		平成30年度	令和元年度	
		年度別事業費		0 千円	0 千円	0 千円
		国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円
		その他		0 千円	0 千円	0 千円
一般財源		0 千円	0 千円	0 千円		

政策 5	安心して快適に暮らせるまち
施策 5-4	安全な水道水の安定供給と持続的な安定経営を進めます

所 管	上水道課
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—
関 連	—

◆現状と課題

小諸市の水道水源は、湧水と深井戸のみで水量・水質共に安定した供給を行っているが、高度成長期以降に整備された施設が法定耐用年数を迎え始め、水道施設の老朽化が進んでおり、加えて近年の異常気象による水質悪化の懸念もあり、また人口減少問題により水道料金収入の減少も見込まれている。このため、施設の更新とその財源確保が大きな課題となっている。また、技術の継承、スキルの向上など人材育成も課題となっている。このような水道事業の実態などを使用者へ適切に情報提供していくことも重要な課題である。

◆方針

目的
平成28年度に策定した小諸市上水道事業基本計画に基づく、小諸市上水道事業実施計画により事業推進を図り、将来も持続可能な水道事業の基盤を構築する。また、使用者に適切な情報提供を行い水道事業の理解度を深める。 公民連携により水道事業を推進し、効率的な事業運営を図る。

◆令和元年度重点方針と目標

①小諸市上水道事業基本計画における実施計画の実行
②公民連携による民間活力を生かした事業運営への移行

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
①小諸市上水道事業基本計画に基づいた施設整備及び、経営改革により将来も持続可能な水道事業の基盤を構築するとともに、計画の進捗状況のチェック、業務状況の確認を行い、効率的な計画実施が図れる状態。 ②適切な情報提供により、水道使用者の水道事業に対する理解度が深まる状態。
設定理由
①②小諸市上水道事業基本計画は、水道事業全般を見直し、配水計画や水利用計画、経営戦略を含めた総合的な計画であり、この基本計画の確実な実行が水道事業の課題克服に直結するため。

◆実績

令和元年度実績						評価	維持
①小諸市上水道事業基本計画に基づく小諸市上水道事業実施計画により、管路の更新では延長2,243mの整備を行った。また、2ヶ所にろ過機の新設を行った。							
②小諸市水道施設等の指定管理者である(株)水みらい小諸が3ヶ月間の事務引継ぎ後、令和元年10月1日から指定管理業務を開始した。また、月毎に施設等の維持管理業務状況、料金の徴収関係業務状況、給水申請関係業務等について、事業主体としてモニタリングを実施した。							

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	総収支比率(総収益/総費用) × 100							
設定理由	総収益と総支出の総体的バランスを見ることで、経営状況を判定できるため。							
算式	総収支比率(総収益/総費用) × 100						単位	%
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	114.2	計画	112.1	110	106	106		
		実績	120.7	118.6	117.8			
指標名	管路更新率(その年度に更新された管路延長/管路総延長) × 100							
設定理由	安定経営を行う中で、管路施設への投資がどのくらいできたか判定できるため。							
算式	管路更新率(その年度に更新された管路延長/管路総延長) × 100						単位	%
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	0.05	計画	0.3	0.7	0.5	0.3		
		実績	0.1	0.1	0.4			
指標名								
設定理由								
算式							単位	
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
		計画						
		実績						

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

①小諸市上水道事業基本計画に基づく小諸市上水道事業実施計画により、引き続き事業推進を図る。							
②指定管理者「(株)水みらい小諸」に委託した水道施設の維持管理業務、料金徴収関連業務、給水申請関連業務等について、良好な運営が来ているか事業主体として確実なモニタリングを行う。							

◆個別計画

環境基本計画/小諸市地域防災計画/小諸市上水道事業基本計画/小諸市水道ビジョン2017							
---	--	--	--	--	--	--	--

◆特記事項

--	--	--	--	--	--	--	--

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-4 安全な水道水の安定供給と持続的な安定経営を進めます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
小諸市水道事業		継続	1			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
水道事業企業会計		上水道課	1:無			
事業概要	・小諸市水道事業					
投入指標		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費	1,131,285 千円	1,146,883 千円	1,639,848 千円		
	特定財源 国・県支出金	10,023 千円	0 千円	84,086 千円		
	地方債	8,200 千円	0 千円	428,100 千円		
	その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源	1,113,062 千円	1,146,883 千円	1,127,662 千円			
活動指標	指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	総収支比率	%	計画	112.1	110.0	106.0
			実績	120.7	118.6	117.8
	管路更新率	%	計画	0.3	0.7	0.5
			実績	0.1	0.1	0.4
令和元年度 実績	評価	維持	特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・10月1日から指定管理により上水道業務の一部を委託した公民共同企業体「榑水みらい小諸」が業務を開始した。 ・小諸市上水道事業実施計画に基づき、宇坪入第2水源から丸山配水池までの導水管の布設替え工事、西小諸配水池及び宇坪入第2水源のろ過施設設置工事の完了、石綿管布設替え工事を行った。 		<ul style="list-style-type: none"> ・10月1日から指定管理により一部業務を委託した。 				
目標の実現に向けた今後の取り組み						
<ul style="list-style-type: none"> ・小諸市上水道事業実施計画に基づいた施設の更新、設備整備を行うと共に、公民連携により水道事業の基盤強化を図る。 ・公民共同企業体の使用者への周知及び業務状況についてモニタリングを徹底し、効率的な事業運営を図る。 						

政策 5	安心して快適に暮らせるまち
施策 5-5	安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

所 管	危機管理課
関 連	生活環境課
関 連	市民課
関 連	総務課
関 連	消防課
関 連	—

◆現状と課題

共助のための「自主防災組織」について、未だ組織化できていない行政区があり、また、組織化されていても自主防災組織が主導して防災訓練を実施している区は半数以下である。異常気象による局地的な集中豪雨や大型台風の発生・上陸、大規模地震、浅間山の火山活動など、いざ有事の際に、被害を最小限にとどめる「減災」の取組強化が必要である。地域防災力の中核的な役割を担う消防団について、引き続き消防団員の確保に向けた取組みを進める必要がある。また、設置が義務化された住宅用火災報知設備の設置世帯は年々増加しているものの、未だ約2割の世帯で未設置となっている。住宅火災による被害を最小限にとどめるために、設置促進に併せて条例適合率の向上と設置後の維持管理に関する広報等の取組が必要である。耐震不足と老朽化から防災拠点として課題のある消防庁舎は、第2の災害拠点とするべく耐震化を含め旧小諸高校跡地への移転新築工事に着手、自然災害や複雑・大規模化する火災に対応するため、令和2年5月の機能移転・運用開始に向けた消防庁舎整備事業を進めていく必要がある。

◆方針

目的
地域全体で安全・安心なまちをつくるため、関係機関の連携強化と住民意識の高揚を図るとともに、老朽化した消防庁舎を再構築し、「災害に強いまちづくり」を進める。 あらゆる災害に迅速かつ的確に対応できる消防力を整備し、住民の安全で安心な暮らしを実現する消防活動体制を確立する。

◆令和元年度重点方針と目標

災害に備え、市内全区で自主防災組織の組織化を進め、将来的に全ての区で自主的に避難訓練が行なわれることを目指し、住民学習会等のサポートを行い、住民意識の高揚を図る。
防災対応の拠点施設である消防庁舎の再構築に向けて、実施設計業務を早期に発注し、年度内に新築工事に着手する。

◆目標

・目標の計画と達成状況

計 画
①市及び行政区で、それぞれの役割に応じた防災・防犯体制が構築され、全ての地域で様々な手段により防災行政情報入手できる状態。 ②市民が避難方法や避難場所等を熟知している状態。 ③防災、防犯意識が高まっている状態。 ④交通事故発生件数が減少し、かつ、交通事故死亡者がゼロになり、安全で安心して暮らせる状態。
設定理由
①地域の防災力の向上を図ること及び市等からの情報発信の手段を複数確保することで、市民への情報伝達力の向上が図れるから。 ②避難方法や避難場所等を熟知していれば、有事の際にスムーズに避難できるから。 ③防災・防犯意識が高まれば、地域において主体的な役割を担ってもらえるようになるから。 ④交通事故、特に死者が出るような重大事故を減少させられれば、安全で安心して暮らせるようになるから。

◆実績

令和元年度実績						評価	拡充
①令和元年東日本台風災害の対応において、区長アンケートの結果、防災会議委員、市議会議員、市各対策部からの意見などを踏まえ、今回の災害対応で浮かび上がった課題を整理し、今後の防災対応に活かすために「令和元年東日本台風対応検証報告書」として取りまとめた。							
②各区で自主防災組織が主体となつての防災訓練の実施の依頼をし、60区(5区増)において防災訓練が実施された。							
③防災対応の拠点施設である消防庁舎について、旧小諸高校跡地への移転新築工事に着手し、令和2年5月の機能移転、運用開始に向けて工事を進めることができた。							
④関係団体と連携して事故減少に努めた。死亡事故は一件発生したが、交通事故は減少した。							

◆成果指標(アウトカム)

・目標の計画と達成状況

指標名	自主防災組織主導の防災訓練の実施率						単位	区
設定理由	災害発生時は、自助共助が機能することにより被害を最小限に止めることができる。自主防災組織が機能するためには、防災訓練を実施することが有効であるから。							
算式							単位	区
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	48	計画	55	60	65	68		
		実績	49	55	60			
指標名	住宅用火災警報器の設置率							
設定理由	消防法で設置が義務付けられている住宅用火災警報器の普及に努め、設置率が向上することにより、火災の際の被害軽減が図られるため。							
算式							単位	%
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	76.8	計画	83	86	90	80.5		
		実績	76.9	77.1	82.1			
指標名								
設定理由								
算式							単位	
目標値	計画策定時		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
		計画						
		実績						

◆目標の実現に向けた今後の取り組み

<p>68区全てにおいて自主防災組織の組織化及び継続した取り組みが行われることを目指し、組織化されていない区に対しては、引き続き自主防災組織の設立に向けた学習会の講師を職員が務めるなどの支援を行う。</p> <p>毎年実施をしている「小諸市総合防災訓練」は、昨年度から机上訓練に切り替え、総合防災訓練に併せて行う区も増えていることから、今後も各区で実施される防災訓練については、自主防災組織主導による「より実効性のある訓練」となるように側面からサポートする。</p> <p>交通事故ゼロを目指し、引き続き関係団体と連携し交通安全啓発活動を実施する。</p>
--

◆個別計画

地域防災計画／交通安全基本計画

◆特記事項

住宅用火災警報器の設置率について、第10次基本計画において計画数値と実績数値の乖離が大きいこと及び、計画数値が現実的でないことから、計画数値の見直しを図った。

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-5 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
防犯事業		継続	4				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・2総務費・1総務管理費・1一般管理費		危機管理課	1:無				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 区等の要望に基づく防犯灯の設置及び防犯灯維持管理経費への補助 区等による小諸市安全で安心なまちづくり事業(防犯活動等)に係る経費への支援 防犯関係機関・団体との連携による組織横断的な活動の推進 						
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	特定財源	国・県支出金	18,490 千円	18,405 千円	20,570 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	18,490 千円	18,405 千円	20,570 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	既設防犯灯に占めるLED防犯灯の割合		%	計画	-	-	82
				実績	-	82	84
	設置基準に基づく防犯灯の設置率		%	計画	100	100	100
				実績	100	100	100
令和元年度 実績			評価	縮小	特記事項		
<p>各区の防犯灯設置要望に基づき、新設及びLED防犯灯交換工事を実施した。また、区自主防災組織等の申請に基づき、安全で安心なまちづくり事業補助金を交付した。</p>							
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>防犯灯設置箇所図により、各区においてLED化がされていない防犯灯を再度確認いただく。</p>							

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-5 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
セーフコミュニティ推進事業		継続	7				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・2総務費・1総務管理費・1一般管理費		危機管理課	1:無				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> セーフコミュニティ推進協議会を中心とした安全・安心に関連する取り組みの一体的な推進 外傷調査委員会で分析したデータに基づく各対策委員会の活動の推進 セーフコミュニティ活動に対する啓発事業の実施 セーフコミュニティ認証都市との交流 						
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	特定財源	国・県支出金	937 千円	475 千円	456 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
		一般財源	937 千円	475 千円	456 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	推進協議会・各対策委員会・外傷調査委員会の開催回数		回	計画	15	15	9
				実績	6	7	7
	市民フォーラム、講演会の開催回数		回	計画	2	2	2
				実績	2	2	1
令和元年度 実績			評価	縮小	特記事項		
<p>各対策委員会を中心にセーフコミュニティ活動を推進し、市民フォーラムの開催等により啓発活動を行った。</p> <p>活動指標(アウトプット)の「推進協議会・各対策委員会・外傷調査委員会の開催回数」は、対策委員会の統合により令和元年度から目標値を変更。</p>							
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>引き続き関係機関等と連携した各分野における活動を中心に、安全安心のまちづくりの取り組みを推進し、安全安心フォーラムでの啓発を行う。</p>							

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-5 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
防災対策費運営費		継続	2			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・2総務費・1総務管理費・10防災対策費		危機管理課	2:有			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災計画、業務継続計画の見直し、修正 ・総合防災訓練の年1回の実施 ・全68区の自主防災組織設立、防災訓練実施、住民支え合いマップ作成・更新の推進 ・防災講演会、研修会、学習会の定期開催と防災教育充実の推進 ・防災対策用備蓄品の備蓄推進 					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	特定財源	国・県支出金	14,185 千円	7,434 千円	5,454 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	0 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	5 千円	0 千円	5 千円	
	一般財源	14,180 千円	7,434 千円	5,449 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	総合防災訓練の実施	回	計画	1	1	1
			実績	1	1	1
	自主防災組織を設立した区の数	区	計画	2	-	62
実績			2	61	61	
令和元年度 実績			評価	維持	特記事項	
<p>出前講座の実施による自主防災組織の設立、運営の支援や、訓練項目資料の作成、配布等による各区での防災訓練実施の支援を行った。 また、防災対策用品(食料、資材等)の備蓄を進めた。</p>						
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>自主防災組織の設立支援の要望をいただいた区への学習会等の支援を行う。 各区の自主防災組織主導の「より実効性のある訓練」となるよう、各区へ防災訓練に関する情報提供等を行う。</p>						

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-5 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名		新規・継続	施策内順位			
防災情報基盤整備・運用事業		継続	8			
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項			
一般会計・2総務費・1総務管理費・10防災対策費		危機管理課	1:無			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線設備等の保守管理・点検の実施 					
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	特定財源	国・県支出金	12,101 千円	10,078 千円	10,016 千円	
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円	
		その他	2,300 千円	0 千円	0 千円	
		一般財源	644 千円	639 千円	685 千円	
	一般財源	9,157 千円	9,439 千円	9,331 千円		
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	防災情報関連機器の点検実施		計画	実施	実施	実施
			実績	実施	実施	実施
	アナログ放送終了に伴う代替伝達手段の整備		計画	-	-	選定
実績			-	情報収集	情報収集	
令和元年度 実績			評価	維持	特記事項	
<p>防災情報伝達設備の点検・保守管理を行い、防災情報を的確に伝達した。 アナログ放送終了に伴う代替手段について、引き続き情報収集を行った。</p>						
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>計画に基づき防災情報伝達設備の定期的な点検及び保守点検を行う。 アナログ放送終了に伴う代替手段について、収集した情報をもとに検討し、選定を行う。</p>						

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-5 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名		新規・継続		施策内順位				
交通安全対策事業		継続		3				
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項				
一般会計・2総務費・7交通安全費・1交通安全費		生活環境課		1:無				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全運動の実施 小諸市交通安全運動推進協議会の運営 小諸交通安全協会への負担金の交付 交通安全教室の開催 小諸市交通指導員の委嘱 							
	投入指標	平成29年度		平成30年度		令和元年度		
		年度別事業費		1,881 千円	1,572 千円	1,854 千円		
		特定財源	国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円	
			地方債		0 千円	0 千円	0 千円	
その他			0 千円	0 千円	0 千円			
一般財源		1,881 千円	1,572 千円	1,854 千円				
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	小諸市における年間交通事故死者数		人	計画 0	実績 0	0		
				計画 1	実績 0	1		
	小諸市における運転免許自主返納者数(警察署年統計)		人	計画 80	実績 80	80		
				計画 118	実績 126	164		
令和元年度 実績			評価	維持	特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> 関係団体等と連携して交通安全運動を実施した。 高齢者や学生など、対象者に合わせた交通安全教室(スクエアドストレイトや交通安全ミュージカル、運転講習)を実施した。 								
目標の実現に向けた今後の取り組み								
交通死亡事故ゼロを目指し、引き続き関係団体と連携し交通安全啓発活動を実施する。 特に事故の被害に遭いやすい子どもや高齢者等に向けて、対象者に応じた交通安全教室を開催する。								

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-5 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名		新規・継続		施策内順位				
県民交通災害共済事務		継続		10				
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項				
一般会計・2総務費・7交通安全費・1交通安全費		生活環境課		1:無				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 県民交通災害共済への市民の加入促進 交通事故被害者への見舞金の支給 							
	投入指標	平成29年度		平成30年度		令和元年度		
		年度別事業費		2,174 千円	2,140 千円	2,166 千円		
		特定財源	国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円	
			地方債		0 千円	0 千円	0 千円	
その他			1,838 千円	1,806 千円	1,769 千円			
一般財源		336 千円	334 千円	397 千円				
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	県民交通災害共済加入率		%	計画 66	実績 66	66		
				計画 65	実績 65	64		
				計画				
				実績				
令和元年度 実績			評価	維持	特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> 加入促進のため、共済事業ならではの掛金に対する見舞金の高さをPRした。 交通事故被害者の立ち直りを支援するため見舞金の支払いを行った。 								
目標の実現に向けた今後の取り組み								
交通事故被害者の立ち直りを支援するため、見舞金の支払いを行う。 加入促進のため、共済事業ならではの利点などをふまえた制度の周知を行う。								

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-5 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
消費者行政事業		継続	9				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・3民生費・1社会福祉費・5市民相談事業費		市民課	1:無				
事業概要	消費生活センターの運営 ・専門相談員による相談・あっせん及び消費者教育などの被害予防啓発 ・自家消費食品の放射性物質検査						
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		1,380 千円	1,357 千円	2,188 千円		
	特定財源	国・県支出金	697 千円	679 千円	1,381 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	0 千円	0 千円	0 千円		
一般財源		683 千円	678 千円	807 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	相談員相談日数		日	計画	160	160	160
				実績	154	150	149
	被害防止等啓発件数		件	計画	25	25	25
				実績	26	23	22
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> 消費生活相談員による相談、あっせんなどを行い、消費者トラブルの被害の予防及び救済をした。 広報こもろ及び市SNSへの掲載、小・中・高校生への啓発物の配布、コミュニティーテレビでの放映などを行い、被害防止の啓発をした。 専門相談員及び担当職員が研修を受講した。 電話を利用した悪質商法に対する防衛意識が高まり、通話録音装置の貸与数が増加した。 							
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 多発する悪質商法に対し、広報紙等を活用した注意喚起を行う。 高齢者の被害防止のため、通話録音装置の普及や被害予防の啓発を行う。 複雑化、巧妙化する悪質商法等の相談に対応するため、相談員及び職員ともに専門機関が開催する研修を受講する。 相談者の不安を解消するため、他機関と連携し対応を行う。 							

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-5 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名		新規・継続	施策内順位				
佐久広域連合負担金		継続	-				
会計・款・項・目		所管課	市長公約事項				
一般会計・9消防費・1消防費・1常備消防費		消防課	1:無				
事業概要	佐久広域連合組織市町村からの市町村分担金を計画的・効率的に適正な執行を図る。						
投入指標			平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費		327,398 千円	317,966 千円	337,023 千円		
	特定財源	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円		
		その他	4,968 千円	4,900 千円	4,689 千円		
一般財源		322,430 千円	313,066 千円	332,334 千円			
活動指標	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
				計画			
				実績			
				計画			
				実績			
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> 官民一体型テロ対策訓練 しなの鉄道災害救急救助安全連絡分科会 指揮隊同乗研修・災害想定訓練 上信越自動車道路・中部横断道路 事故対応合同訓練 生物兵器、化学兵器対応訓練 震災対策訓練 火災防衛連携訓練 							
<p align="center">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>安心・安全な地域づくりに向け消防力強化を図るため、消防車両や消防資機材の更新を消防本部と協議し進めていく。指揮隊を含めた広域連携の更なる強化を図り、消防職員の安全確保及び円滑かつ効率的な消防活動に繋げる。市や消防団等の関係機関はもちろん、各種団体や民間事業所も含め、より高度な各種災害対応訓練を行い、更なる連携強化及び協力体制の構築を進めていく。</p>							

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-5 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名		新規・継続		施策内順位	
非常備消防費運営費		継続		5	
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項	
一般会計・9消防費・1消防費・2非常備消防費		消防課		1:無	
事業概要	消防組織法に基づき市町村に設置される消防機関の運営。				
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度
	特定財源	国・県支出金	76,293 千円	82,305 千円	66,507 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	0 千円	0 千円	0 千円
		一般財源	17,272 千円	20,903 千円	6,585 千円
活動指標	指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
消防団員数		人	計画	850	850
			実績	839	832
			計画		
			実績		
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・団員の充足率は年度末で98.6%であり、前年より0.6%アップした。 ・年次計画による事業・訓練・教養、県・北佐久消防協会の事業を実施。北佐久消防協会消防訓練を小諸市で実施。 ・災害現場及び訓練での安全管理のためゴーグルを全団員へ貸与。 ・女性班の応急手当講習会へ普及員として出向。火災予防広報に出向。 ・女性班は1名増員。 					
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>地域防災力確保の観点から、消防団員の確保は最重要課題ととらえ、県と協力しながらメディアを通じた広報活動の実施等、様々な取り組みを行っていく。また、団独自でも現状の問題点や課題を洗い出すとともに団員確保施策について検討し入団促進につなげていく。市民に対して地域の消防防災体制や行方不明者捜索活動に対応できる、動員力のある消防団の必要性や活動等を広報し、理解を深めていただく。災害時の消防団の対応力を強化するため、国で示す装備品について充実を図っていく。</p>					

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-5 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名		新規・継続		施策内順位	
消防施設費運営費		継続		6	
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項	
一般会計・9消防費・1消防費・3消防施設費		消防課		1:無	
事業概要	消防組織法による小諸市消防団の運営。				
投入指標	年度別事業費		平成29年度	平成30年度	令和元年度
	特定財源	国・県支出金	39,773 千円	11,842 千円	11,445 千円
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円
		その他	32,500 千円	9,100 千円	8,000 千円
		一般財源	0 千円	0 千円	0 千円
活動指標	指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
小型動力消防ポンプ更新数		台	計画	2	2
			実績	2	2
			計画	1	1
			実績	1	1
小型動力ポンプ積載車更新数		台	計画	1	1
			実績	1	1
			計画	1	1
			実績	1	1
令和元年度 実績		評価	維持	特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・消防ポンプ自動車 1台 第1分団第3部を更新した。 ・小型動力ポンプ積載車 1台 第1分団第7部を更新した。 ・小型動力ポンプ 2台 第1分団第4部、第2分団第4部を更新した。 ・消防施設整備事業 消火栓設置1件、消火栓器具24件、詰所等の改築1件に補助金を交付した。 					
<p>目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <p>消防団車両について、現在導入されている車種は、一部を除き安全面において改善する必要がある。新たに購入する車種については安全面に配慮していく。</p> <p>地域防災力の充実・確保の観点から、各区の消火栓施設整備・更新計画に補助金の交付を今後も行っていく。</p>					

政策 5 安心して快適に暮らせるまち
 施策 5-5 安全で安心な暮らしを実現する体制を充実させます

事務事業名		新規・継続		施策内順位		
消防庁舎整備事業		継続		1		
会計・款・項・目		所管課		市長公約事項		
一般会計・9消防費・1消防費・3消防施設費		消防課		1:無		
事業概要	耐震強度不足と老朽化に伴う小諸消防署庁舎の移転建て替え。					
投入指標		平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	年度別事業費	3,004 千円	44,869 千円	485,073 千円		
	特定財源					
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円		
	地方債	3,004 千円	39,800 千円	464,000 千円		
その他	0 千円	0 千円	0 千円			
一般財源	0 千円	5,069 千円	21,073 千円			
活動指標	指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	庁舎建設の検討	回	計画		12	12
			実績		48	
			計画			
			実績			
令和元年度 実績	評価	拡充	特記事項			
<ul style="list-style-type: none"> ・小諸市消防庁舎建設に係わる工事開始。 ・出入り口及び駐車場工事。 ・指令システム移設工事。 ・屋外拡声子工事。 ・消防救急デジタル無線工事。 ・施設備品購入。 						
<p style="text-align: center;">目標の実現に向けた今後の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設工事進捗状況の確認及び業者との連携。 ・新庁舎の備品及び機器の適正配置。 ・新庁舎に関する運用計画の策定、業務継続計画の見直しを図っていく。 						